

14 読書活動

読書は、集中力、読解力、言語能力等、学力向上へつながる効果のほか、想像力、感受性等の向上も期待されます。児童生徒に読書の習慣をつけさせましょう。

1 学校における読書活動の充実

- ・朝読書等、全校一斉の読書活動の時間を設定する
- ・図書館に行く、本を借りることを促し、習慣化させる
- ・図書委員会等を活用し、児童生徒同士で相互に行う読書活動の充実を図る
- ・各クラスで学級文庫の充実を図れるよう体制を整える

【読書活動の具体例】

読書会	数人で集まり、本の感想を話し合う活動。この取組により、本の新たな魅力に気付き、より深い読書につなげることができる。
ストーリーテリング	語り手が昔話や物語を自分の言葉で語り聞かせ、聞き手がそれを聞いて想像を膨らませる活動。直接物語を聞くことで、語り手と聞き手が一体になって楽しむことができる。
ブックトーク	相手に本への興味が湧くような工夫を凝らしながら、あるテーマに沿って関連付けて複数の本を紹介すること。テーマから 様々なジャンルの本に触れることができる。
書評合戦 (ビブリオバトル)	発表者が面白いと思った本を紹介し、その発表に関する意見交換を行う。全ての発表が終了した後に、どの本が一番読みたくなかったかを参加者の多数決で選ぶ活動。

まずは本に触れる機会を増やして、読書の楽しさに気づかせることが第一歩だね！



2 授業と学校図書館の連携

- ・教科書で学習した題材の作者の本が読めるコーナーを設ける（並行読書、関連図書）
- ・理科や社会等で、教科書からはわからない情報を集めたり、まとめたりする際に活用する
- ・「総合的な学習の時間」等での調べ学習を行う際に活用する

3 家庭や地域と連携した読書活動

(1) 家庭との連携の充実

- ・家族で時間を決めて一緒に読書を行う（親子読書の充実）
- ・親が読書を楽しんでいる姿を見せる
- ・家の本棚に親が読んだ本を置く
- ・家族で読んだ本の感想を伝え合う

(2) 地域との連携の充実

- ・秩父市立図書館、荒川図書館、吉田分館、大滝分館との連携を図る（「お話会」「ブックトーク」「セカンドブックスタート」「移動図書」等活用）
- ・地域の読み聞かせボランティア等との連携を図る

学校だけでなく、家庭や地域と協力して、児童生徒の読書環境を充実させていきましょう！



※児童生徒が興味のある本を読むことで、読書の楽しさを感じることも大切ですが、謎解き絵本や漫画、ライトノベル、携帯小説等を読んでいるだけでは、期待する読解力や言語能力は身につけません。古今東西の様々な文学作品に触れさせたり、特定の文化への理解を必要としない、人類に普遍的な主題を扱う作品を勧めたりして、児童生徒の語彙やイメージ、概念を広げていきましょう。